

2022年2月期第3四半期(2021年度)決算説明会資料

2021年12月24日

株式会社高島屋

目次

1. 連結業績
2. 国内百貨店業績
3. 主要子会社業績
4. 連結計画

1. 連結業績

- ✓ 営業収益は、コロナ影響の前年反動と本年縮小により増収
- ✓ 販管費は増加するも、営業利益、経常利益、純利益は増益

(単位：億円)	Q3 累計 (3~11月)	前年比/ 前年増減	前々年比/ 前々年増減	Q2 実績 (3~8月)	前年比/ 前年増減	前々年比/ 前々年増減	Q3 実績 (9~11月)	前年比/ 前年増減	前々年比/ 前々年増減	特別損失(コ ナ)前年差額
営業収益	5,373	+12.0%	△20.6%	3,472	+16.8%	△23.4%	1,901	+4.1%	△14.9%	
販売管理費	1,679	+74	△243	1,103	+71	△182	576	+3	△61	+81
営業利益	△11	+94	△214	△20	+82	△154	9	+12	△59	(Q3累計)
経常利益	13	+123	△181	△6	+104	△132	19	+19	△48	
純利益	△37	+207	△202	△44	+189	△168	7	+18	△34	

2. 国内百貨店業績

- ✓ 営業収益は、前年のコロナ影響による休業反動もあり、増収
- ✓ 商品利益率は、特選衣料雑貨の好調が続き低下傾向
- ✓ 営業利益は、コスト構造改革による販管費の削減も進み、増益

(単位：億円)	Q3 累計 (3~11月)			Q2 実績 (3~8月)			Q3 実績 (9~11月)			特別損失(コ ナ)前年差額
	前年比/ 前年増減	前々年比/ 前々年増減		前年比/ 前年増減	前々年比/ 前々年増減		前年比/ 前年増減	前々年比/ 前々年増減		
営業収益	4,614	+13.5%	△19.3%	2,966	+19.3%	△22.4%	1,648	+4.4%	△13.0%	
売上高	4,510	+13.8%	△19.5%	2,898	+19.8%	△22.7%	1,613	+4.5%	△13.2%	
商品利益率	22.50%	△0.30	△1.29	22.39%	△0.28	△1.36	22.71%	△0.30	△1.16	
販売管理費	1,206	+46	△194	785	+42	△151	421	+3	△44	+58
営業利益	△88	+68	△132	△68	+60	△96	△20	+8	△36	(Q3累計)

2. 国内百貨店販売管理費

✓ Q3(9~11月)のコスト構造改革による削減額は22億円

✓ ポイント宣伝費のスキーム変更影響19億円は計画内

(単位：億円)	Q3累計 (3-11月)	前年増減	前年増減 内訳						Q3実績 (9-11月)	前年増減	前年増減 内訳			
			特別損失(コロナ)計上 前年反動	計上 本年振	休業等による変動費の増減 前年反動	増減 本年減少	比例費 増加	スキーム 変更			コスト構造 改革	比例費 増加	スキーム 変更	コスト構造 改革
人件費	390	+3	32	△7	4	△2			133	△8				△8
宣伝費	162	+36	2	△0	14	△8	17	19	72	+20	4	19		△3
総務費・ 庶務費	459	△2	22	△6	10	△6	12		153	△7	3			△10
経理費	195	+9	22	△7	3	△5			63	△1				△1
合計	1,206	+46	78	△20	31	△21	29	19	421	+3	6	19		△22

25 増加

※ポイント宣伝費のスキーム変更

従来、高島屋のクレジットカードに付与しているポイントは、金券に交換された時点で宣伝費として計上。

9月から金券交換を不要とし、ポイント利用を電子化したため、9月1日時点で未交換のまま保有されていたポイントを宣伝費として計上。

3. 国内グループ事業（主要子会社業績）

✓ 東神開発、TFPはコロナ反動により増収増益

✓ TSCは、コロナ影響が続き減収減益も、Q3（9～11月）は増収

(単位：億円)

		Q3 累計 (3～11月)	前年比/ 前年増減	※前々年比/ 前々年増減	Q2 実績 (3～8月)	前年比/ 前年増減	※前々年比/ 前々年増減	Q3 実績 (9～11月)	前年比/ 前年増減	※前々年比/ 前々年増減
東 神 開 発	営業収益	306	+4.6%	△8.5%	199	+6.3%	△10.6%	107	+1.5%	△4.4%
	営業利益	39	+ 2	△12	22	+ 1	△11	17	+ 1	△1
高島屋ファイナンシャル ・パートナーズ (TFP)	営業収益	150	+2.6%	△7.2%	99	+4.2%	△6.9%	51	△0.4%	△7.7%
	営業利益	33	+ 1	△6	22	+ 1	△4	11	+ 1	△1
高島屋スペースクリエイツ (TSC)	営業収益	130	△18.7%	△51.5%	94	△27.0%	△49.0%	36	+15.2%	△56.9%
	営業利益	△ 7	△1	△19	△ 1	△0	△9	△ 5	△1	△11

※東神開発はティーアンドティー、TSCはTSC東北との合算値、TFPは高島屋クレジットと高島屋保険の合算値との前々年比/前々年増減です。

3. 海外事業(主要子会社業績 1月～9月)

- ✓ Q3(7～9月)はコロナ影響があるもののベトナムを除く4社で増益
- ✓ ベトナムはQ3(7～9月)にほぼ全日全館休業となり減収減益
- ✓ サイアムのQ3(7～9月)は生活必需品を除き休業となり減収

(単位：億円)		Q3 累計 (1～9月)	前年比/ 前年増減	前々年比/ 前々年増減	Q2 実績 (1～6月)	前年比/ 前年増減	前々年比/ 前々年増減	Q3 実績 (7～9月)	前年比/ 前年増減	前々年比/ 前々年増減
タカシマヤ シンガポール	営業収益	90	+38.0%	△24.7%	59	+47.8%	△28.4%	32	+22.8%	△16.6%
	営業利益	7	△0	△26	4	△2	△18	3	+2	△7
トーシンディベロップメント シンガポール(TDS)	営業収益	57	+25.6%	△13.2%	38	+39.6%	△15.0%	19	+4.9%	△9.4%
	営業利益	15	+1	△9	10	+1	△6	5	+0	△3
上海高島屋	営業収益	23	+31.0%	△12.5%	15	+37.1%	△7.3%	7	+20.2%	△21.5%
	営業利益	2	+4	+1	2	+3	+1	1	+1	△0
タカシマヤ ベトナム	営業収益	8	△26.0%	△40.1%	8	+16.4%	△12.5%	0	△94.2%	△94.7%
	営業利益	△1	△2	△2	1	+0	+0	△2	△2	△2
サイアム タカシマヤ	営業収益	9	+12.2%	△27.5%	7	+47.5%	△15.6%	2	△35.3%	△49.5%
	営業利益	△7	+0	+0	△5	△0	△0	△2	+0	+0

1SGD=81.43JPY 1CNY=16.86JPY 1VND=0.0047JPY 1THB=3.44JPY

4. 連結計画(10月14日 公表)

- ✓ 前年のコロナ影響の反動もあり増収増益計画
- ✓ 国内百貨店の建て直しやグループ収益基盤の回復で黒字化計画
- ✓ 通期計画の「10月14日公表計画」からの変更はなし

(単位：億円)	通期計画	前年比/ 前年増減	前々年比/ 前々年増減	上期実績	前年比/ 前年増減	下期計画	前年比/ 前年増減
営業収益	7,640	+12.2%	△16.9%	3,472	+16.8%	4,168	+8.7%
販売管理費	2,307	+79	△295	1,103	+71	1,203	+8
営業利益	60	+195	△196	△ 20	+82	80	+113
経常利益	60	+196	△172	△ 6	+104	66	+93
純利益	23	+363	△137	△ 44	+189	67	+174

参考資料① 施設別営業状況(2021年度)

■施設別営業状況(時短営業日は含まず)

	休業開始	全日営業再開	休業日数		休業開始	全日営業再開	休業日数
大阪店	4月25日	6月21日	43日	立川 SC	4月25日	6月21日	43日
堺店	4月25日	6月21日	43日	大宮店	—	—	—
泉北店	4月25日	6月21日	43日	柏ステーションモール	—	—	—
京都店	4月25日	6月21日	43日	岡山店	5月16日	6月1日	5日
洛西店	4月25日	6月21日	43日	岐阜店	—	—	—
日本橋 SC	4月25日	6月21日	43日	高崎店	—	—	—
横浜店	—	—	—	流山SC	—	—	—
タイムズスクエア (新宿)	4月25日	6月21日	43日	博多リバレイン	—	—	—
玉川SC	4月25日	6月21日	43日				

※4月25日～5月31日は生活必需品を除き休業。

※6月1日～20日は平日は全館営業、土日は生活必需品を除き休業。

※岡山店は5月16日～5月31日の期間、平日は全館営業、土日は生活必需品を除き休業。

	休業開始	全館営業再開	休業日数		
			2Q	3Q	4Q
シンガポールタカシマヤ	—	—	—	—	—
シンガポール SC	—	—	—	—	—
上海高島屋	—	—	—	—	—
タカシマヤベトナム	5月31日	10月8日	31日	92日	7日
サイゴンセンター	5月31日	10月8日	31日	92日	7日
サイアムタカシマヤ	7月12日	8月31日	—	51日	—

※タカシマヤベトナム5月31日から生活必需品を除き休業。7月5日から10月5日まで全館休業。10月6日から一部営業再開。

※サイゴンセンターは5月31日から10月3日まで生活必需品を除き休業。10月4日から一部営業再開。

※サイアムタカシマヤは7月12日から8月31日まで生活必需品を除き休業。

参考資料② 施設別営業状況(2020年度)

	休業開始	営業再開	休業日数※		休業開始	営業再開	休業日数※
大阪店	4月8日	5月18日	42日	玉川 SC	4月8日	5月14日	38日
堺店	4月8日	5月18日	40日	立川 SC	4月8日	5月14日	36日
泉北店	4月8日	5月18日	40日	大宮店	4月8日	5月18日	40日
京都店	4月15日	5月21日	36日	柏ステーションモール	4月8日	5月14日	38日
洛西店	4月15日	5月21日	36日	岡山店	4月22日	5月11日	19日
日本橋 SC	4月8日	5月18日	44日	岐阜店	4月11日	5月16日	36日
横浜店	4月8日	5月18日	44日	高崎店	4月18日	5月11日	23日
港南台店	4月8日	5月18日	40日	流山SC	4月8日	5月7日	31日
タイムズスクエア (新宿)	4月8日	5月18日	44日	博多リバレイン	4月8日	5月7日	29日

※休業日数には「緊急事態宣言」以前の臨時休業を含む。別途、時短営業を実施。

	時短営業開始	休業開始	営業再開	休業日数	
				1Q	2Q
シンガポールタカシマヤ	2月20日	4月7日	6月19日	—	73日
シンガポール SC	2月17日	4月7日	6月19日	—	73日
上海高島屋	1月26日	—	4月1日	—	—
タカシマヤベトナム	3月25日	3月28日	4月24日	4日	23日
サイゴンセンター	3月20日	3月28日	4月25日	4日	23日
サイアムタカシマヤ	—	3月22日	5月17日	10日	46日

※上海高島屋は休業せず、4月1日より通常営業時間での営業を再開。